

東京経済大学

地域連携センター

TKU Center for Regional Collaboration

2018-2019 | vol.3



参考：国分寺市教育委員会ふるさと文化財課制作
「武蔵国分寺跡 附東山道武蔵路跡 周辺案内MAP」

TOKYO KEIZAI UNIVERSITY

TKU
120
CHALLENGE 2020
SINCE 1900

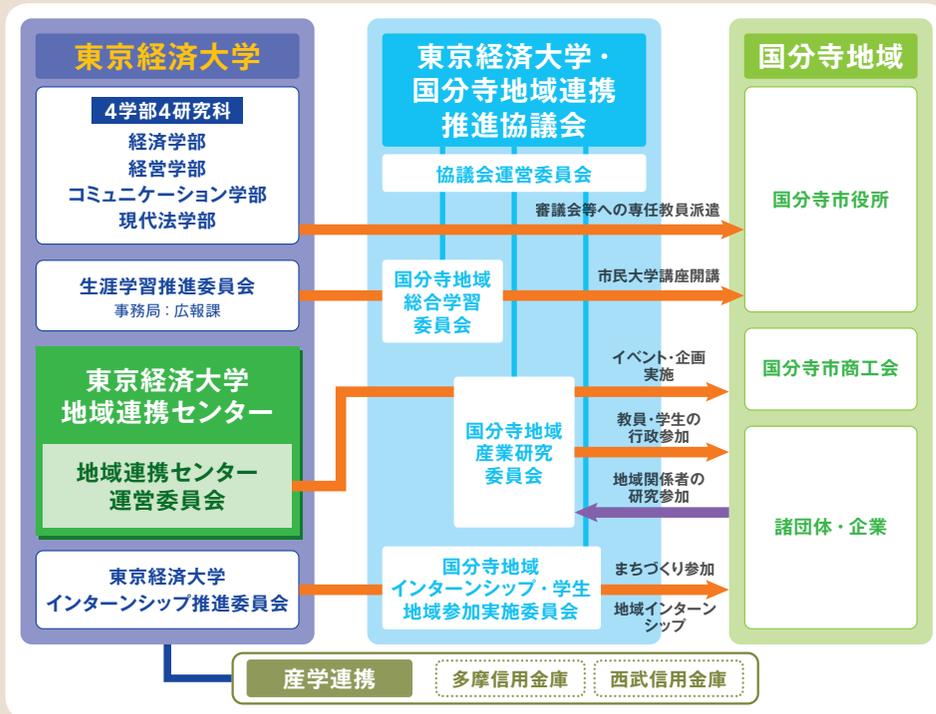
東京経済大学の地域連携

● 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会

東京経済大学は1946年に国分寺市へキャンパス移転して以降、地域の方々との交流を深めて来た歴史があり、市民の生涯学習に資する講演会や授業科目履修および聴講、研究成果の公開など、さまざまなニーズに応えながら地域社会に開いた取組みを拡大・発展してきました。2004年4月には国分寺市、国分寺市商工会および地元の有力企業・団体と「東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会」を組織しました。この協議会は現在「協議会運営委員会」、「国分寺地域総合学習委員会」、「国分寺地域産業研究委員会」、「国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会」の4つの委員会があります。本学の「地域貢献」という社会的使命を果たし、学生の現代的教育ニーズに応えること、国分寺地域のまちの活性化や市民生活の充実をはかるという大きな課題を解決するため、国分寺市唯一の大学として国分寺地域の諸団体および市民と連携・協働し、組織的に支援することを目指します。



第7回東京経済大学・国分寺地域連携フォーラム「都市農業2.0」(2017年6月)



1982年 10月	市民大学講座開設
2002年 4月	大倉喜八郎記念東京経済大学 学術芸術振興会 設立
2004年 10月	東京経済大学・国分寺地域連携 推進協議会結成
2005年 4月	国分寺地域インターンシップ 授業開始
2010年 4月	学生の地域貢献 授業開始
2013年 6月	地域連携センター設置
2014年 10月	多摩信用金庫と 包括的連携協定締結
2015年 4月	西武信用金庫と 包括的連携協定締結
2015年 11月	地域連携センター窓口業務 (職員常駐) 開始
2017年 4月	地域連携支援特命講師招聘

● 地域連携センター

- 窓口時間: 原則として、土・日・祝日を除く授業実施期間中の9:00~17:00
- 場所: 1号館2階北側の学生ラウンジ隣
- 地域連携センターおよび地域連携活動の情報は、本学ホームページでお知らせしています。 [URL] <http://www.tku.ac.jp/renkei/area-center/>

地域連携センターは、2013年6月に本学の地域連携および産学連携の総合窓口として設置されました。国分寺はもとより多摩地域の行政機関、民間企業、NPO法人又は地域住民等との連携を深め、地域の文化および産業の振興並びに地域社会の発展に寄与することを目的としています。

2015年11月から常駐職員2名体制で窓口業務をスタートさせました。

外部機関および本学教職員・学生からの情報収集並びに双方への情報発信、シンポジウム・フォーラム・研修会などの準備・運営、本学教職員・学生の地域貢献・交流活動への支援を行います。本学教職員・学生が学外関係者とのミーティングなどにセンター内の打合せスペースを使用することもできます。



地域連携センター入口
活動の様子をパネルにして展示しています



打合せスペースでの学生の様子
使用は予約優先です



国分寺市×地域連携センターコラボレーションシンポジウム「こらぼdeサロン ~大学生と創る地域のカ~」
(2018年1月)



CRC cafe スタート!

地域連携センター主催の、昼休みにおこなう学内ミニ講座をスタートしました。学生の地域連携活動の理解を深めたり興味を喚起すること、地域連携センターの認知度を上げることを目的としています。

ランチを取りながら参加でき、ちょっと気軽に集まれるような演出をしています。2017年度は初年度として3回実施しました。

- 第1回：ボランティア活動について
- 第2回：東経大名物パンアンケート結果報告会
- 第3回：クラウドファンディングのいろは



演劇研究会 劇団みつばち 『秋の交通安全運動“市民のつどい”』にて、免許返納に関する公演を披露

2017年9月3日、武蔵小金井駅前の宮地楽器ホールにて行われた小金井警察署内交通安全協会主催の「秋の全国交通安全運動 市民の集い」に参加し、高齢者の自動車運転免許返納の返納をテーマとした交通安全演劇を披露しました。

劇団みつばちにとって初めての挑戦でしたが、脚本をはじめ演技や小道具について多くの好評をいただき、日頃の活動の成果を発表する機会となり貴重な体験となりました。



2018年4月1日(日) オープン! 国分寺市立cocobunjiプラザ オープン記念イベントで本学学生が企画・発表

長年の懸案となっていた国分寺駅北口再開発事業がすすみ、再開発ビルが2018(平成30)年3月に竣工。西街区ビル(cocobunji WEST)の5階は市の公益フロア(cocobunjiプラザ)となり、市民および国分寺市への来訪者が使用できる施設となりました。

本学学生有志グループ「こくスマ! 実行委員会」は、このcocobunjiプラザのオープン記念イベント(4/1~4/8)のうちの1日を使って「こくスマ!」と題し、来場者みんなを笑顔にする企画を立案。

企画の中身は、リサイクルマーケット・オークション、文化会音楽サークルや落語等のライブ、ゼミ履修生らによるまちづくり活動報告などさまざま、夜の時間帯には地域発展を考えるシンポジウムやワークショップを開催します。これらの活動等によって当施設のPRや利用者誘致、まちの紹介と魅力発信を図ることを応援します。



本学学生が『市長と語ろう! ~大学生世代ミーティング~』に参加し 立川市長と意見交換

2017年12月9日(土) 立川市役所で、立川市が主催する大学生世代を対象とした市長との意見交換会『市長と語ろう! ~大学生世代ミーティング~』が開催され、本学経済学部鈴木恒雄特命講師のゼミ生が参加しました。

立川市は、将来にわたって住みよいまちをつくる施策を進めており、立川市長がさまざまな世代等と意見交換会を行っています。鈴木ゼミ生は、市民が安らげる場の確保と防災設備の増強の両立が可能な“老朽化したベンチを防災ベンチに変える”ことを提言しました。



武蔵村山市の小学生との交流授業 「将来を共に描く」を実施

— 経済学部藤井博特任講師「キャリアデザイン実践」

2017年11月22日(水)、「キャリアデザイン実践」の履修生等本学学生11名が、武蔵村山市立雷塚小学校において同校の6年生児童65名とともに「東京経済大学×雷塚小学校 小学生の将来を共に描く(大学生編)」と題して将来の夢について考え、描き、語る時間を共有することを目的にセッション型の交流授業を行いました。



東京経済大学の「正課教育」と地域連携①

「地域インターンシップ」

「地域インターンシップ」とは？

2004年10月に発足した「東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会」の事業として、「国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会」において、産官学で話し合いながら、学生の職業意識の醸成と国分寺地域の活性化をコラボさせるというユニークな試みをスタートさせました。学生にとって身近な国分寺地域で就業実習をさせていただくことで、「お客様目線」の優れた経営実践を学ばせていただくことができます。実習に送り出す前の事前教育においても、国分寺地域の産業界・行政機関のみならず方に国分寺地域の歴史や経済事情等について、講師になっていただき、学生とともに車座で語り合うことで本学の教育にも貢献していただいています。

「地域インターンシップ」は、全学部共通の授業科目で、2年生以上の学生が履修できます。

「地域インターンシップ」スケジュール



2017年度実習実績 計11機関 33名



2017年度
実習報告集



車座講座 受入先企業の方をお招きして「社会人に必要なことは?」



ワークショップ 企業側・学生側それぞれの立場になって発表



成果報告会 実習で学んだ成果を披露

東京経済大学の「正課教育」と地域連携②

「学生の地域貢献」

「学生の地域貢献」とは？

2004年10月に発足した「東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会」からの要請によって生まれた授業で、2010年よりスタートしました。地域の方々と協力しながら行うボランティア活動を単位として認定します。「地域を元気にするために若い力を貸してほしい」「新しいアイデアが欲しい」といった地域の声に応え、また、単なる一方通行・一過的な手助けではなく授業の一環として大学教育に根付かせ、現代的な教育ニーズにこたえる取り組みとすることを志向しています。2017年度より、経済学部と経営学部において常設科目となりました。学生は自治体や公共性の高い機関において福祉や教育・環境・各種イベントへの企画段階からの参加、まちづくり活動などをおこなって、地域社会の活性化に貢献します。



2017年度
学生活動報告書



履修条件

- 活動時間：合計40時間以上
- 全学年(1~4年生)・全学部生対象 (経済学部・経営学部において常設科目)
- 通年 2単位
- 履修人数：30名程度
- 「地域インターンシップ」との同時履修は不可

主な授業内容(予定)

- 4~5月：履修説明会 講義…国分寺地域の課題・地域活性化の取組活動受入先とのマッチング
- 6~7月：受入先訪問・見学等 企画・提案 活動の準備
- 8~10月：地域貢献活動 (日程に従い適宜参加)
- 11月：活動報告準備
- 12月：活動報告会
- 1月：報告書作成

活動受入先 2017年度

- 国分寺市役所
- 国分寺市教育委員会
- こくぶんじ市民協議会実行委員会
- 国分寺青年会議所
- 国分寺市おもてなし・地域交流施設 史跡の駅 おたカフェ
- NPO法人 冒険遊び場の会
- 国分寺市国際協会
- NPO法人 国障連喫茶 事業所喫茶ほんだ
- 大学通り商店街「東栄会」
- NPO法人 ワーカーズ風ぐるま
- 国分寺モリタテ会
- NPO法人 まちづくりサポート国分寺
- 国分寺市役所 市民生活部 文化と人権課 国分寺まつり実行委員会事務局
- 南町二丁目町会

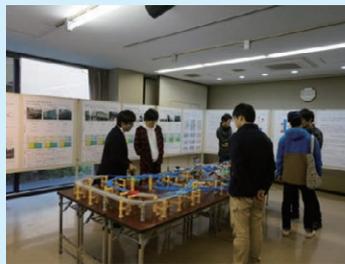
ゼミ活動

青木亮ゼミ（経営学部） ● 国分寺周辺地域活動

第33回本多公民館新緑祭りへの参加とゼミ展示会の開催

2017年5月19日～21日の3日間、国分寺市本多公民館の新緑祭りでは「住みたいと思える町、国分寺」をテーマとしたパネル展示、他の参加団体と協力したポスター作成、会場設営協力等を行いました。

11月9日～12日にはゼミ展示会を行い、市民を対象にパネルとブレイクを展示しました。この展示会は2006年から継続しており、今年度は「繁栄する中央線と国分寺」をテーマに中央線沿線の吉祥寺、立川、八王子と国分寺を道路網やバス路線、商工業地、鉄道の各方面から比較して国分寺の発展可能性を分析しました。当日は大勢の方々に来場いただき、ゼミ活動の成果を地域に還元することができました。



尾崎寛直ゼミ（経済学部） ● 国分寺周辺地域活動

「農福連携とスポーツを通じた障がい者の社会参加支援活動」

国分寺およびその周辺地域に住む障がいのある人たちの自立した生活を目指す上で、地域就労モデルの確立による社会参加支援をおこなっています。障がい者作業所で製造するスイーツの商品開発やマーケティング・リサーチを通じた商品改善、売り方の工夫等を行って学内外での販売実践をしたり、スポーツを通じて社会参加と生きがいを得られるよう運動行事を実施したり、「国分寺市障害者（児）運動会・お楽しみ会」の運営協力をしています。これらの活動を通じ、当地域に住む障がいのある人々の社会参加および自立生活支援、余暇活動支援を行っています。



小木紀親ゼミ（経営学部） ● 国分寺周辺地域活動

Webサイト「国分寺物語」を活用した国分寺市の活性化

2013年からWebサイト「国分寺物語」をオープンし、およそ3日に1度、ゼミ生がFacebookやHPを更新して国分寺地域で働く人、住民、名所などさまざまな情報を発信しています。また年1回、シンポジウムを開催して市民に公開しており今年で5回目を迎えました。

国分寺市との連携では、今年度から5か年に亘る「国分寺総合ビジョン」の執筆、国分寺市役所のイベント情報の配信、さまざまな市からの依頼に対応。市および国分寺市観光協会主催の「こくぶんじ写真コンクール」には審査員として参加し、「国分寺物語賞」の設置は今年で3回目となりました。こうした活動の成果は国分寺市の中学1年生の特別授業内でレクチャーしたり、本学オープンキャンパス内で高校生およびその家族に発表したりしています。



学生課外活動

本学は学生の社会貢献活動に対する助成制度を設けています。課外活動として地域に出て、さまざまに活動するサークルや有志グループなどがあり、活動の予定や報告は大学HPの「地域連携センター」画面に掲載しています。

● 落語研究会

東京経済大学の文化会所属サークルです。

【主な活動】

- 学内において、金曜日昼休みに「金曜寄席」を開催
- 大学の学園祭「葵祭」への参加
- 国分寺周辺地域への慰問および「自主開催寄席」
- 国分寺駅ビルCELEO国分寺と共同で定期開催「CELEO寄席」@9Fレストランフロア



● ボランティアサークル「Clover」

ボランティアサークルのCloverは、部員が200名を越える本学最大規模の文化会所属サークルです。ボランティアに関しては、地域の窓口でもあるボランティア活動センターこくぶんじと緊密に連携して、イベント運営の手伝い、小学生対象の学習支援、姿見の池の管理活動など、さまざまなボランティア活動を行っています。また、自主的な活動として隔週に大学周辺の環境美化活動や学内でボランティア講座の開催なども行っています。学生にとって活動を通じて授業だけでは得られない体験ができ、国分寺のまちについて多くを知ることができます。さまざまなスキルや気付きを得る機会となり、それが同時に地域の方々のお役に立ち、喜びにもつながっていく、このような「Win-Win」の関係を育てることを目指して活動しています。



● 西下彰俊ゼミ (現代法学部) ● 国分寺周辺地域活動

音楽ボランティアによるゼミ生と特別養護老人ホーム利用者の社会的交流プログラム

2017年7月、9月、11月、12月、2018年1月の5回にわたり、国分寺市内の特別養護老人ホーム「うれしのの里」を継続的に訪問しました。音楽ボランティアを行う当ゼミ活動は今年度で3回目です。毎年度活動の舞台を替えながら実施しています。ご参加いただくのは、同ホーム入居者の皆様、当日のデイスサービス利用の皆様です。皆様の記憶機能の保持のために「回想法」の効果を期待して毎回懐メロや童謡を14曲程度選定し、またゼミ生と利用者の皆様が音楽を通じて交流できるようカスタネットを用いて実践しました。今年度の特徴は、ホームの介護職員の皆様と併設の地域包括支援センターの看護職員の方に積極的に参加していただけたことです。こうした連携をこれからも大切にしていきたいと思ひます。



● 山本聡ゼミ (経営学部) ● 学生の社会貢献活動

東村山市と東大和市で地域活性化イベントを開催

東大和市観光事業プラットフォーム運営会議に参加・報告

山本聡ゼミでは東村山市と東大和市で市役所や商工会、市民団体と連携して、地域活性化イベントを開催。東村山市では地元の寺院や御朱印に焦点を当て、大善院にて市内の豊島屋酒造の日本酒を使用した化粧水を手作りする体験イベントで、定員を上回る盛況ぶりでした。また、東大和市では食の歴史に焦点を当て、村山地域の食文化に関する展示会を開催し、後日食文化の調理体験も行いました。これらの活動をきっかけに、2017年12月より東大和市観光事業プラットフォーム運営会議に参加することになりました。日を別にして東大和市の有識者の方々の前で、ゼミ生が活動の成果を報告しました。



● 鈴木恒雄特別ゼミ (経済学部)

国分寺市内商店とのコラボ企画

1 「東経大名物パン」開発プロジェクト

国分寺市のパン屋さんで本学に店舗のあるキニョンでの新商品開発アンケート実施と分析作業を通じて提案を行い、試食会を経て新商品の揚げパン発売を開始しました。

2 こくメシ

国分寺市内の飲食店の売上げの向上、地域の飲食店が一体となる企画の考案、国分寺産の野菜「こくベジ」の普及を目的に、季節に応じたキャンペーン企画をプランニングし、同じ商店街の別の飲食店とタイアップしたクーポンを発行することで集客アップを提案、実行しています。



2017年度
始動!

街づくりサポーター組織 「グリーンプライド (Green Pride)」による 北口商店街エリアの環境美化に係る啓発活動



- 東京経済大学と「ぶんじマルシェ北口連合商店会」が連携して『グリーンプライド』を設立
- 毎月2回(第2金曜日、第4火曜日)、北口商店街エリアの環境美化に係る啓発活動を実施
- 清掃活動を通じて北口商店街エリアにおける来街者のマナー向上、子供や高齢者の見守り、コンシェルジュ等の街のコミュニティ強化に資する機能を担っていく予定

※「ぶんじマルシェ北口連合商店会」
→国分寺駅北口周辺の8つの商店会(東栄会、国分寺北口駅前商店会、八日会商店会、国分寺北口西通り商店会、札ノ丘商店街、本多中央商店会、本多すずらん商店会、本町四丁目商店会)の連合組織



『グリーンプライド』 キックオフ セレモニー

- 日 程：2017年7月14日(金)
17時~17時30分(セレモニー)、
17時30分~18時(清掃活動)
- 場 所：多摩信用金庫 国分寺支店3F
コミュニティホール
- 主 催：ぶんじマルシェ
北口連合商店会
- 協 力：国分寺市、国分寺市商工会、
多摩信用金庫 国分寺支店、
東京経済大学



東京経済大学の 産学連携

TOKYO KEIZAI UNIVERSITY Center for Regional Collaboration



● 多摩信用金庫との連携

地域や事業所のニーズと大学の研究とのマッチングやアンケート調査などを通じ、中小企業の課題や商店街の活性化、まちづくりなど、多摩地域が抱える課題への解決支援を推進しています。

● 共同シンポジウムの開催

第1回：「飛躍する多摩のものづくり企業 — 地域産業の活性化と挑戦する経営者」2014年度

第2回：「多摩の中小企業の知られざる国際化と経営者の姿

～地域連携に求められる新たな役割とは?」2014年度

第3回：「多摩地域のインバウンド戦略と地域資源活用」2015年度

第4回：「中小企業の稼ぐ力と支援力

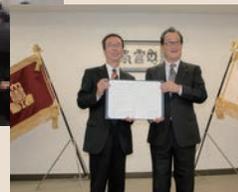
～企業と支援機関のパートナーシップによる価値共創～」2016年度

第5回：「多摩の中小企業の経営者が語る女性が働く環境の“今”と“未来”」2017年度

～女性が輝き続けられる地域を目指して～



第5回 共同シンポジウム



● 西武信用金庫との連携

同信金のネットワークを活用して、本学学生が取引先でインターンシップを展開したり、社会科学系大学の特性を活かし、教員や学生らがフィールドワークや研究対象として取引先企業を取り上げて、経営戦略など中小企業のビジネスモデルをフィードバックしています。



● 「知財を活用したビジネス創出(大学連携)」への参加

● 「地域産業応援資金」事業

● 「第4回 多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション2017」

経営学部山本聡ゼミの2チームが 選考会を勝ち抜き本選に出場し、 優秀賞・奨励賞を獲得

多摩地域の課題に対して学生が解決策を考え企画を発表する「多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション2017」。9月の選考会を勝ち抜いた本学経営学部の山本ゼミの2チーム(東大和班、御朱印班)が本選に出場しました。

本選は12月16日(土)に昭和記念公園花みどり文化センターで開催され、山本聡ゼミ2チームのうち御朱印班が優秀賞を獲得し、12月17日(日)付け読売新聞(多摩版)に紹介されました。東大和班は奨励賞を受賞しました。

山本聡ゼミは2015年度から出場し、2017年度まで3年連続で本選での優秀賞獲得となりました。



● 西武信用金庫 産学連携事業「知財を活用したビジネス創出(大学連携)」

予選を勝ち抜き、 スチューデントアワード(本選)で 優秀賞を獲得

これまでの市場にない知財を活用した商品開発のアイデアを創出し、地域の中小企業の活性化を目指します。西武信用金庫を介して地域企業ニーズと研究シーズを結びつけ、教育の一環として産学連携を行い、地域の課題解決の一助となることを意識しています。本学は2016年度より参加し、2016年・2017年の2年連続で予選を勝ち抜き、2017年度本選のスチューデントアワードで優秀賞を獲得しました。

〈出場アイデア名、チーム名〉

- 2016年度：奇怪装置(山本聡ゼミナール チーム山の子)
- 2017年度：よみとる!じんとる!日本地図パズル(山本聡ゼミナール チームT.Y.Z)



本学の地域総合学習事業

東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会「国分寺地域総合学習委員会」支援活動 第36回市民大学講座（2017年度）

「現代社会を考える2017」

開催日	講師	講義内容
1 9/30 (土)	安田 宏樹 東京経済大学 経済学部 准教授	行動経済学:経済学と心理学の出会い
2 10/7 (土)	大塚 成男 千葉大学 法政経学部 教授	自治体のふところ具合 ー 地方財政の現状と課題ー
3 10/14 (土)	林 康史 立正大学 経済学部 教授	マネーと投資の心理学 「行動経済学」事始め
4 10/28 (土)	大岩 直人 東京経済大学 コミュニケーション学部 教授	シンクロニシティ ~「共時的」に考える、現代社会のこれから~
5 11/18 (土)	岡本 英男 東京経済大学 経済学部 教授	欧州福祉国家とユーロ・システム
6 11/25 (土)	小林 誠 東京経済大学 コミュニケーション学部 専任講師	メディアと気候変動-太平洋の島から考える
7 12/2 (土)	大出 良知 東京経済大学 現代法学部 教授	裁判員裁判によって冤罪は防げるか
8 12/9 (土)	加藤 一彦 東京経済大学 現代法学部 教授	日本国憲法施行70年目の現在 -2020年になる前に考えておくこと-

※開校式 9月30日(土)午後1時~ / 閉校式 12月9日(土)午後3時30分~



東京経済大学・国分寺市共催 東京都消費生活総合センター後援 第6回「市民のための契約法講座」 (2017年度)

	日時	テーマ	講師
身近な事例 で学ぶ ①入門講座	1 9月28日(木)	契約社会を生きる ー身近な事例で契約ルールを学ぶー	島田 和夫 (名誉教授)
	2 10月5日(木)	金融商品の消費者問題 ー投資信託や保険の紛争事例の解説ー	桜井 健夫 (現代法学部教授)
	3 10月12日(木)	不招請勧誘と適合性原則 ー豊田商事事件を素材にー	村本 武志 (現代法学部教授)
契約法の 入門の入門 ②基礎講座	1 10月19日(木)	契約ルールの基礎知識① 民法の契約ルール ー契約の入口から出口までー	村 千鶴子 (現代法学部教授)
	2 10月26日(木)	契約ルールの基礎知識② 消費者契約の基礎ルール ークーリング・オフ制度などー	



武蔵村山市教育委員会後援 東京経済大学 武蔵村山キャンパス 公開講座

■ 第1回

【日時】2018年3月17日(土)
14:00~16:00

【演題】昭和初期のポピュラー音楽
を聴く

【講師】山田晴通 本学コミュニケーション学部教授



■ 第2回

【日時】2018年3月24日(土) 14:00~16:00

【演題】グローバル経済下でのインフレとデフレ
ー21世紀のわたしたちの仕事と暮らしー

【講師】渡辺裕一 本学経済学部准教授

大倉喜八郎記念 東京経済大学 学術芸術振興会 (2017年度)

大倉喜八郎記念学術芸術振興会は、東京経済大学創立者大倉喜八郎の文化的貢献の志を継承して、学術芸術の振興とそれによる本学の社会への文化的貢献を中心に活動しています。



国分寺市「地区防災センター」

2011年4月、東京経済大学(国分寺キャンパス)は災害発生時に安全確保のため、被災した市民を一時的に受け入れ保護する国分寺市「地区防災センター」に認定されました。

国分寺市「地域防災計画」によりますと、「地区防災センター」は、大規模災害の発生時に避難場所となり、医療救護や物資配付、情報伝達の機能を有する地域の拠点と定義されています。

同市との協定で、国分寺キャンパス内施設のうち、避難場所として想定されているのは「100周年記念館」の1階アリーナと地下1階体育室等、「葵陵(きりょう)会館」3階開放部で、合わせて約1980名の受け入れとなっています。

国分寺市職員と本学教職員が主に運営を担当しますが、災害状況によっては学生がボランティアとして協力します。



お問い合わせ先

東京経済大学 地域連携センター(1号館2階) 〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34

TEL 042-328-7950

FAX 042-328-7949

E-mail crc@s.tku.ac.jp

URL http://www.tku.ac.jp/renkei

2018年3月発行